

毎月病院の インフォ 配布！	年間予防スケジュール	
1月	 混合ワクチン接種 (年1回) ワクチン時には 全身チェックを 致します！	 狂犬病接種 (年1回) ワンちゃん はお忘れなく！
2月		
3月	☆1～3月は連続3年以上予防来院で スケーリング割引あり！	
4月	☆新しい病院新聞を 配り始めます	☆フィラリア 検査開始！
5月	春の健康診断	
6月		
7月		
8月	☆お盆休みはあり ませんよ！	ノミ・ダニ予防
9月	☆来年のカレンダー を配り始めます	フィラリア予防
10月	秋の健康診断	
11月		
12月	☆年末年始の休みは 1月1、2日のみです！	

★予防、フードでポイント進呈! 貯まれば500円割引に!
★予防薬のまとめ購入には個数プラスのおまけあり!

ゆう動物病院新聞

平成26年号

発行 ゆう動物病院

〒601-8432 京都市南区西九条東島町58-103
TEL. (075)681-5300 / FAX. (075)681-5300
URL: <http://www11.plala.or.jp/>

十年目を超えて更に頑張るぞ!と気合を入れてる内に、知らぬ間に十一年目が終わってしまった感じのある一年でした。もちろん僕が加齢しているから有ると思うのですが、病院そのものも成長して大人になってきたのか、時間の流れが年々早くなっている気がします。この流れの早さは、ともすれば流される結果になり、大人になつてしまふ事で変化を受け入れなくなる事にもなりかねません。去年は新しくレーザー治療器を導入したりもしましたが、実は毎年細かい点で沢山改善し変化をしています。昔はそれに対して「皆様からのご意見を下さい!」と思っていました。今は「皆さんの言わない事・思いもしなかった事を専門家サイドから実行しなくては!」と強く思います。どうせならアップルの故ステイブジョブズさんみたいに「潜在的な理想や要望、考えてもなかった未来の形を提供する」レベルになれたらなあ、と思います。少しづつ背伸びをします!

院長 森本真一郎

年間お得パスポートは
活用して下さいね!

- ①年間の病院の流れが分かる表が載っています。駐車場案内も分かり易いと思います。
- ②フィラリア・ノミダニ予防1種につき、毎月「爪切り・臭腺しぼり」が1種づつ無料になります!
- ③お誕生日月には更に耳掃除と全身チェックが無料です(誕生日不明は任意の月でOKです)!
- ④春秋の血液検査付の健康診断を受けた時には更にエコー・レントゲンの検査を各1000円割引!
- ⑤連続3年以上予防(何でも)の方は更に感謝を込めて以下の3つの特典を特別にお付けします。

受付までお気軽にお問合せ下さいね!

*コインパーキングの補助(1回500円まで、要領収書)

*週3回を超える連続来院は以後は再診代半額、往診の初回をお試しとして半額!

*1~3月のスケーリングは3000円割引!

☆個別にしていた幾つかのサービスチケットは統廃合されますので、ご注意下さいね。

☆それぞれのサービスは皆様のカードの提示による請求により行います。沢山利用して下さいね!

☆健康診断のお得項目が増えてパワーアップしています！

大人になった犬猫さんは1年で人では4歳分の歳をとります（大型は7歳）！少なくとも年1回、遅くとも猫・小型～中型犬は10歳、大型犬は5歳になったら年2回は動物病院で健康診断を受けてみましょう！色々和獣医に相談して下さいね！

～健康診断の流れ～

予約時に以前に問題があったり、中高齢だから……と腹部エコー検査も特別にご希望される場合は事前にお申し付け下さい。ゆったりと予約時間をお取りして対応します。

まずは相談

気になる事は色々聞いておきましょう。でも最初から病気としてのご相談・症状があれば、それは健康診断でなく通常の診察での対応になります。

次にチェック

基本の血液検査でも再診代500円で全身のチェックと簡単なお手入れ（爪切り・臭腺しほり・耳掃除等）がついています！血液検査は通常の半額位と非常にお得！更に秋の血液検査ではシニア向けの特別な検査項目もセットで非常にお安くなっています！

今年は画像診断も？

今年何歳ですか？小型犬・猫さんは10歳、大型犬で7歳を目安に詳しい血液検査と共にレントゲンやエコー検査の追加をご検討下さい。これらは血液検査の結果によって追加で検討をしても良いでしょう。エコー検査は要予約です。

まずは身体検査と血液検査からだけでも健康習慣を始めましょう！

2013	2012	
 ● レーザー導入 ● 細径内視鏡購入 ● 点滴の機械追加購入 ● 病院カメラ増台 ● 新しいしつけDVD購入 ● 空気清浄器追加購入 ● コインパーキング7台契約 ● アニマルカメラ貸出 ● 奥の診察補助台の設置	 ● タブレット・新パソコン導入、LAN化 ● 鉛カーテン新調 ● インキキューベーター購入 ● 大型エコー台導入 ● 輸液ポンプ増台 ● マイクロエネジン新調 ● その他色々（階段滑り防止、貸出ゲージ、体重計、保温器増台、待合の絵を新調、傷保護スリツ）	ハード（施設など）の変化
● 獣医師2名増加 ● 年間バスポート開始 ● 皮膚科学会ポスター発表 ● インターズ取材 ● インドネシアAMAMSの皮膚科学会への参加 ● HPでの症例報告開始 ● 秋の健康診断開始 ● フロントライン特典カードのサービス開始 ● ダイエットサポートのプログラム開始 ● レーザーセミナー実習 ● 間葉系幹細胞治療参加 ● 新聞紙面リニューアル ● 新しい院内プリント作成 ● 新しい事ノートの設置 ● オマケ配布色々	● ついに皮膚科認定医に！ ● 院内でエコー講習会 ● 各報告書リニューアル ● 健康診断書配布 ● 京都市動物愛護センターに十万円寄付 ● ペットの雑誌に載りました ● ホームページリニューアル ● 新アンケート開始 ● 猫用ワクチン最新に変更 ● 秋の健康診断開始 ● 新しい三色管理カルテ導入 ● 本・DVD等（行動療法、救急、皮膚、薬理、細胞診、膀胱手術、待合の本色々） ● 歯磨きガム常に二割お得に ● ネットセミナー閲覧可能に ● オマケ配布色々（略）	ソフト（中身・システムなど）の変化
 ● 二月 ロシアに隕石 ● 三月 TTP交渉参加 ● 四月 日銀の異次元の量的・質的緩和 ● 九月 二〇二〇年の東京オリンピック決定！	● iPS細胞を作製した京都大の山中伸弥教授がノーベル生理学・医学賞を受賞 ● ロンドンオリンピックで史上最多のメダル ● 東京スカイツリー完成 ● 金環日食広範囲で観測九三二年来 ● 天皇陛下冠動脈手術成功	世の中の出来事

ゆう動物病院 年表

（去年と一昨年を載せております、それ以前は去年の新聞をご参照下さい）

二〇一三年を振り返って



最初にも書きましたが、十年経つとその習慣と言いますか、日常の引力みたいなものが段々と大きくなってきた、そこから抜ける事が難しくなっています。変わらない日々と言うのはやっぱり心地良く、そこに横たわってしまいたくなります。

それを予想していた訳ではありませんが、十年の節目に向けて皮膚科の認定医を取得しておいた事は、否が応でも変化を生み出して、結局は皮膚科だけでなく、トータルの仕事の幅を広げる上で凄く役に立ちました。取得する前も論文を書く事などが「記録する」「新しい知見を調べる」「証拠に基づいて治療する」等の必要性をより意識する事になり、仕事の質を上げるのに役立つ事は以前に書きましたが、取得した後にも色々と変化につながりました。

機会が国内外で増えてくると、実際の治療方法の情報交換を生でする事が可能になります。また僕よりも余程意識の高い先生方の話を聞くと事は反省する点も見えてきますし、非常にやる気が湧いてきます。去年は獣医の専門誌のインタビューに載せて頂いたのも、それをネタに話しかけて頂ける機会も増えて良かったです。僕はシャイなので基本的に自分から話しかけませんので……(苦笑)。そんな人の輪の中から、今年は専門誌での皮膚科診療の連載にもチャレンジします。こうなると色々な人から「指摘」と言う形で話しかけて頂くかも知れないので、非常に怖いのですが、やっぱり凄く良い機会だと思おうので、頑張ってみます。

何より大きい人の輪は、HPで認定医の話等を載せる事になったので、今まで以上に広い範囲から飼い主さんに来院して頂ける事になった事だと思っています。色々な病院を巡って悩んで来て頂いているので、難症でも多く責任も重大です。でも治してお役に立てれば一番の喜びですが、そういう飼い主さんとペットさん

とゆつくりと向かい合っている時から、大きな責任と共に喜びを感じるので、この事は性に合っているのかも知れません。なかなか厳しい病気だと、ただ単にコントロールするレベルであったり、悪化するしか無い場合もあります。そういう時も「この先生が診断して、一緒に相談して治療してくれたから、ベストだったんだ」と思って頂ける事ができる様に精進しないとダメだと思っております。もちろん皮膚以外のその他の病気も、僕以外の勤務医も、同じ気持ちで頑張っております！

さて……良い人の輪を話した後で、後味が悪くなる感じもしますが、生きていれば悪い人の輪もあります。それは自分の行いで変えられる部分はもちろん大きいのですが、理不尽とも言える形で人生にデインと横たわってしまう事もあります。お金を払って頂けない「未納」問題も大きいですが、恐らくはその方も万引きや食い逃げ、そして窃盗などを日常生活ではしないはずですが、何故か動物病院はボランティアですべきだと思います。この捨て猫を拾うてきた！弱っている猫を拾うてきた！え？お金？何で保護して払わないとダメなの！私の猫じゃないよ！」って言う場合が一番多いかも知れませんが、じゃあ目の前に捨て直すから拾って治しておけよ！」って凄惨な事を言われた事もあります……。でも、これはまだまだマシです。何故なら(面倒ですが)目の前で真剣なやり取りができて、結局は優しい方なので理屈を分かってくれて責任を持って保護して払って頂ける方が多いからです(稀に永遠に払わない方も居られますが……)。一番最悪なのは……黙って捨て去る方でしょう。以前新聞にも書きましたが、本当に悪質です。何が悪質かって、恐らく自分では良い事をしたと思っている可能性が高い事です(笑)。あれも人の輪が広がるのか、前に勤務していた動物病院では年間に二十数頭の猫が捨てられており、宿直の時は寝ないで子猫のお世話をし続けて、全然寝られない事もありました。そんな捨てられた動物に寛容だった動物病院だったのですが、近年は捨てられていた場合は完全に保健所をお願いする形にしたそうです。理由は大量に捨てられた衰弱した猫さん達がどんどん死んでしまつて、その時にスタッフの心労が限界に達したからだそうです。京都では本当に捨て猫が少なく、そんな話も過去の自分の病院の話もどこか他人事のようになっていた去年、久々に捨てられました……。でも！今回は違います。病院に新しい防犯カメラが入ったお蔭で、非常に鮮明に犯人(動物愛護法違反)の姿が映っていました。思わずガッツポーズです。しかも、来年に動物愛護センターを新しく大々的に運営する関係上、京都市は捨てられた動物の保護に力を入れてくれると聞いたばかりだったので、頼もしい限りです。公的な機関の人々の「人の輪」で、猫さんは保護して貰って、犯人は捕まつてとても嬉しかったです！

……なんて一瞬でも夢見た僕はバカでした(涙)。まず保健所さんはあっさりと「犬はともかく、猫は殆ど即日処分ですよ。長く居ても一日かな。子猫ならなおさらずに処分ですわね！」もちろん街猫の不妊手術活動などの地道な努力、そして日々の色々なペットの保護活動とギリギリの努力をしていてくれるのは分かりますが、現実はまだ非常に冷酷なものでした。来年度に大きな施設ができるので、変わる事を期待したいのですが……。全く変わらないなら、税金でハコモノだけ作っているだけに成りますし頑張っているだけです。まあ現状の保健所では仕方ないです。では正義の味

方である警察にお願いしましょう。

二〇一二年八月二十九日に多くの署名を含めた声に押され動物愛護法の様々な改正がありました。その中で遺棄に関しては罰則が「二〇〇万以下の罰金に刑罰が引き上げられました」。

まだ外国の様に本物のアニマルポリスなどはできていませんが、兵庫県警などは非常に頑張っています。

http://www.police.pref.hyogo.jp/topics/animal/

京都では女優の杉本彩さんが頑張っておられますが、いまや大きな潮流として動物愛護の機運がしつかりと高まっています。これだけハッキリした映像証拠があれば、警察は動いてくれるだろう。

……そう思っていた時代が僕にもありました(苦笑)。実際は「何が遺棄かと言う判断も難しいしね」道路から手を伸ばして置いてあるから住居侵入も無理だね「手足切った猫でも入っていたら事件なんだけどね」等々、優しくは言ってくれるのですが、簡単に言えば「動物の事で捜査? そんなにヒマじゃないよ」って事です。確かにおっしゃる通りです。それは分かるのですが、何故「……で、あなたの生年月日は?住所は?」とこちらの取り調べをするのでしょうか……。名

刺も渡しているのに、どんどんプライベートの事を聞かれて尋問を受ける意味が正直言って、全く分かりませんでした。たぶん「ややこしい事言うなよ」って圧力みたいな感じだと思うんですが、確かに色々聞く気が萎えました。

「ではこの写真を動物病院前に提示して犯人を捜すのはどうですか?」と言う事に対しては「それをしてあなたとあなたが名誉棄損で訴訟を起こされるかも知れないよ?万引き犯の写真を店に掲示して訴えられた店主も居るしね。止めた方が良いでしょう。」

と云う的確なご指導を頂き、頭に血が上っていた僕には有り難かったです。でも正直言って、犯人が訴えて来たら敗訴しても堂々と猫を渡せたので、それも良かったのかも知れませんが(苦笑)。防犯カメラの映像は目線を入れて再発防止の警告には使って良いだろうとの見解で、病院に入る時に何だろう?と思われた方も多いでしょうが、少し見苦しいですが日々の防犯活動に役立ってくれております。

そんなこんなで結局は四頭の猫さんが手元に……しかも風邪で衰弱もしてて、何より困るのは結構成長してて子猫と呼ぶにはギリの大きさ!更に現在のスタッ

フには捨て猫が行き渡ってしまっています。うちのチビさん(猫)は社交性が全く無く、新入りを歓迎するとは思えません(苦笑)。でもまあここは覚悟を決めるしかありません。早速ウイルスのチェックをしました。

……猫白血球が全て陽性でした(涙)。

猫エイズは現在様々なデータが集まってきて、寿命に影響を与えないどころか口内炎にすら影響を与えないんじゃないか?エイズと言う名前の付け方がオカシイ位に病原性の小さいウイルスなんじゃないか?と言う認識が高まっています。

が、一方で猫白血球に関しては持続感染して三年後には八割が死んでしまうと言う報告もある位で(長生きする子もいます)、非常に注意すべき病気です。もちろん最初の時期には「陰転化」と言う事もあるのですが、四ヵ月齢を超えると望みは極端に低くなります。……どう考えても四ヵ月齢に近い体格……もし陰転化しなかったら、誰にも貰って頂く事はできません。って言うか、死ぬ確率が高いウイルスを持った子を敢えて誰

も欲しいと思いません(実際に正直に白血球の事を書いてリビンクに載せましたが、応募はゼロでした)。ウイルスがいるなら供血猫にもできないし……。もし猫

白血球陽性が続けば貰い手を探すのは余りに厳しいです。

この時点で僕は「保健所に出そう」と決断しました。その前に京都を走り回って犯人か犯人の自転車(特徴的なのが映っていました)を見つけてやる!とは思いましたが、夫婦で京都市内を走り回って数百台の自転車を調べて疲れただけでした。正直言って、こんだけしたからゴメンと言いつつ欲しかったのですが……。

もう仕方ないかな?と僕は思いましたが、スタッフは「置いてあげて」と、僕より数段優しい事を言ってくれました。もうこうなったら腹を括るしかありません。基礎疾患を治し、良質なご飯をあげ、免疫力を高めて陰転化にかけて……ダメだったら死ぬまで面倒を見ろ!早速、数万掛けて垂直に動ける背の高い三段ケージを二つ買い、薬・食事・サブリと頑張りました。そして……。

何と全員が白血球の陰転化を達成!正直言って奇跡です!!

危険な賭けでしたが、スタッフに引き止めて頂いたお蔭で成功しました。そしてその中の一頭を自分の家に迎え(巻末のマンガ参照)、早速リビンクに掲載して残る三頭もギリギリセーフで年内に優しい方々に貰われ

ていきました。今までも今回も貰われて楽しそうに幸せにしている猫さん達とご家族を見て、何より自分の家に来たまやりん(新しい猫さん)の元気一杯の幸せそうな顔を見ると、結局は嬉しい人の輪が広がって良かったなあ……と心底思います。今年の京都動物フォーラムでの保護犬写真展を見ても、本当に感動しました。人も犬も本当に良い表情で写っていました。

それだけにまた捨てられてしまったら、今後はどうするか悩むんですよね。過去には一生懸命貰い手を探していたら「捨て猫を配つて儲けているんだろ!」とまで言われて「金輪際保護なんかするもんか!!」って思ったりもしましたし、今回は特に嫌な思いも大きかったでコリゴリだという思いも沢山あります。でもやっぱり何かしないと幸せの人の輪も動物の輪も広がりますしね……難しいところなんです。とりあえず病院であっても個人の力には限度がありますので、行政の人の輪が早く整備されて欲しいなあ!と思う今日この頃です。



◆スタッフ紹介◆

皆さん全員に会ってお話されました？また気軽に声をかけて下さいね！
個性が出る様に、敢えて自由に書いて貰いましたよ。

獣医師

獣医師の出川です。

二年前に一眼レフカメラを購入し、休みの日にはカメラを持って出かける事が多くなりました。京都は絶好の撮影ポイントが多数あり、元々好きなママチャリサイクリングをしながら鴨川を下鴨まで行ったり嵐山まで行ったりしています。

特に桜や紅葉の時期は期間が限られるので、天気がいい休日は必ずと言っていい程外出しています。オススメポイントがあったら是非教えてください。去年は竹田城や軍艦島など、天候にも恵まれ、お気に入り写真も撮れました。これから真を撮りたいと思ってい日々を送りたいと思っています。病院も掲げている「誠実な医療」と「真心のホスピタリティ」を意識しながら、精一杯診察させて頂きたいと思っています。

ですの
で、ど
うぞよ
ろしく
お願い
します。



メガネでおでこ全開の獣医師丸です。

チワワ(もどき?)のおもしろ顔のワンコを保護して飼っています。趣味は純喫茶巡り、最近ではあまりできていませんが、ハシゴ酒。どこかでほろ酔いの私を見かけられましたら、生温かい目で見守ってやって下さい。診察はもちろんしっかりと、日々よい治療と、的確で正確な検査に努めて参ります。



こんにちは、獣医師の小浜陽子です。

私は去年の四月下旬から当院に勤務しております。パートタイマーで時短勤務、週数回と限られた時間の中で診察やそのサポートをさせてもらっています。プラ

イベートでは二歳になる娘の育児に奮闘している日々で、家庭と仕事の両立に理解を示してくれるスタッフの皆に支えられ、なんとか一年が経ちました。病気は簡単には良くなるものばかりではないと思いますが、原因を探り苦痛や不安を少しでも取り除いていくためには飼い主さまからの情報が大変です。し、こちらでも丁寧に分かりやすい説明を心がけた診察を提供できるように尽力します。常に一緒に

に「という意識で様々な症状に立ち向かいたいですね。私が娘を大切に思うのと同じようにワンちゃんやねちゃんを診察に連れてこれることを、を思うと、一層寄り添った診察をした気持になつていきます。



動物看護士・事務

近藤絢菜です。

☆にゃんこも好きですが、わんちゃん派
(No.1は断然ダックス！たれ耳、短い足、おしりがかわいい！)
☆高校時代はGryphonsでマーチングをしていました。
今でも音楽を聞いたり歌ったりするのが好きです。

☆Family紹介
*クッキーちゃん(Mダックス 十四才 おとこのこ)
おじいちゃんになってもまだまだ元気！
*うにちゃん(茶トラにゃんこ 二才 おんなのこ)

いたずら好きのやんちゃ娘。実はシヤイ。
☆おしゃべりするのが好きなので、気軽に声をかけて下さいね！



☆おしゃべりするのが好きなので、気軽に声をかけて下さいね！

龍本奈緒美です☆

今は結婚して中路ですが、変わらずお願いします！
動物看護師六年目を迎えました。動物たちをうちの子と同じ様に接し、思いやる気持ち忘れず日々を暮らしています。
うちの子には、にゃんこが三匹います(笑)
いつも癒してもらってます！

最近はお料理のバリエーションを増やすことに時間を費やしています。美味しくて簡単なレシピがあれば是非教えてください！
さいね！
また動物さんのこと、ご相談ごとが気軽



にお声掛けください！よろしくお願ひします。

動物看護士の藤田です。

春から正式にゆう動物病院に働く事になりました。家ではチロルともみちと言う長毛種の猫とチャルメラとガメラと言う亀を飼っています。生まれた時から家に猫がいた為か、根っから猫派です。特に毛が長く体の大きな猫が大好きです。春からは気持ちも新たに頑張ります！よろしくお願いします。



こんにちは。看護師の陰山です。

兵庫県出身の二十一歳、血液型はB型です！写真を撮ること、本を読むことが好きです。京都は景色がいい場所、観光地がたくさんあるので色々な所に行つてたくさん写真を撮りたいと考えています。◎京都に来てから浅いので、これから季節によって変わる街並みにも楽しみにしています。新人です。



が、皆様のお役に立てるよう明るく頑張りますのでよろしく願います。

はじめまして、竹田幸美と申します☆

この度晴れてゆう動物病院で働かせて頂けることになりました！

もうすぐいいお年の私です。可愛い娘と息子(ミニウサギ/コーギー)を持つ二児の母です。毎日愛しくっております(笑)

ここに来られる皆様の大切なご家族にも我が子と同じ愛情を持って誠心誠意、お世話させていただきたいと思っております。

皆様のウチの子自慢やご相談も、たくさん聞かせてください☆

事務の森本(妻)です。

開業当初は受付をしていましたが、出産(当日まで働いていました...)を機に現在は裏方で事務をしています。半年だけでしたが私の姿を見られた方もおられるかも!?

事務をしつつ、育児に追われる日々です。好きなことは、美味しいごはんを作ること、食べること、夫婦で無類のパンずきです。目標はヘルシーでかつお酒に合



せた料理を毎日作ることで...なかなか毎日合

成でできているのが現状です。

わと好きなことがお酒を合

あに二匹のネコをなで

家にいることも猫のお

まわす顔をうずめるのが派

腹(笑)もつばらの猫派

です！

物が私のも動

かすので、

の皆さんが

幸いお力に

なれたら

幸い



■診察時間のご案内■

火曜日の午後が平常通りで日祝の午後も予約診察します！

	平日	日祝
午前	9～12時	9～12時
午後	17～20時	12～17時完全予約

日祝午後は完全予約制になるのでご注意ください

年末年始等・セミナー等による不定休は

病院の掲示と毎月のインフォメーションや

ホームページのトップのトピックス欄をご参考下さい。

病院は基本的に無休ですが各獣医師の休診日は都度お確かめ下さい。

ゆう動物病院近く・おすすめのペット関連情報です！

無料掲載希望は当院まで

～記号の読み方～



喫茶パレット

ペット同伴歓迎。静かでゆったりできる喫茶店です。

キャバリアのさくらちゃんがお出迎えしてくれます。

075-643-2537

NEST

町家を改装したドッグカフェ、ショップ、トリミングサロンのお店です。

わんちゃんメニューが豊富ですので、飼い主さんと一緒に楽しめますよ。

075-212-0417

Inuhimo cafe

カフェからお食事、お酒まで楽しめる豊富な

メニューです。嬉しい学割もありますよ！

京阪七条・清水五条より徒歩10～12分

075-551-5516

SORAN BERRY

その子に似合った可愛いカッコいいスタイルをお客様と考えます。値段等は聞いて下さいね。おしゃべり美味しい！

075-950-0005

☆ペットタクシーさん☆

ペットポータークリッカー

0120-12-9193

TEKU TEKU

0120-939-819

ペット送迎倶楽部

090-9163-1124

●ペットシッターさん●

日本ペットシッターサービス

0120-12-3939

ポレポレ

075-201-8170

080-5368-1590

ウィッシュのママ

カットはもちろん、愛情一杯の一味違うペットホテルがありますよ。送迎あり。値段等は聞いて下さいね。

090-5240-7435

小倉さんまで

K.T.Cクラブ・KIWI Dog's CLUB

愛犬は家族の一員と考えるアヤハティオのしつけトレーナーで専門学校講師でもある方が、しつけ教室だけでなく木のケージのホテルでお預かりもしています。

藤森店：075-643-1614

Prinseess Fantasy

トリミング・ドッグカフェ・グッズ販売・パピヨン専門プリーダーもしています。トリミングの送迎もしていますよ。

下京区西七条

075-314-2739

cake café nine

町家カフェです。テーブル席・ソファでくつろげます。ランチタイム・カフェタイムを満喫。ケーキのテイクアウトもできます。

バス停「羅城門」前・近鉄東寺駅から徒歩10分

075-662-3551

DOG CAFE

愛犬とでもーんでも楽しめます。手作りケーキとドリンクほっこりタイムを!! 犬にちなんだ書籍やグッズもあります。

駐車場有。祇園祭りで賑う室町辺りです。お散歩新町西入る!

075-257-3865

御園い屋～二条別邸～

ワンちゃん専用ホテルです。素敵なお部屋でのおもてなしです。オリジナルのワンちゃんグッズも発売していますよ。

京都市役所前より徒歩5分・京阪三条駅より徒歩10～15分

075-255-7477

ゆう動物病院 よく聞かれる、または ぜひ知って欲しい20のQ&Aコーナー!!



(改訂二〇一四年版)

前回から新しいコーナーとしてQ&Aのコーナーを設けました。良く聞かれる事なので殆ど項目は同じですが、毎年色々改訂されているので読んでみて下さいね。その他に質問したい事があればどんなスタッフまで聞いて下さいね!

Q① 駐車場は何台ですか? 駐車場の注意は何かありますか?

A① 病院の駐車場は五台です。簡単なマップをご用意しています。大型は離れの駐車場が停め易いと思います。南側離れは駐車場間違いが多いので黄色いブロックと「お客様用」の表示を確かめておとめ下さい。去年からは近くのコインパーキングと契約し、二時間までの補助券を出せる様になりました!七台の駐車スペースがありますので、ご活用下さいね。なお病院の前に止めると違反切符を取られたり、事故られたりが多いので危険です。

Q② 優先予約って何ですか? 予約無しでもOK? キャンセルできますか?

A② 優先予約はその時間帯三十分をその方優先にお呼びする予約です。日祝午後だけは完全予約制です。日祝午後の他は予約は無くても良いですが、予約が無いと待ち時間が長くなる事があります。

予約のキャンセルは自由ですが、なるべく早くに教えて下さいね。お呼び出し時にご不在だとお待ちの他の方が優先され十分遅れるとキャンセル扱いになります。キャンセル費はありませんが、来院されない場合はできるだけご連絡下さい。天候が悪くなっても予約がある時はできるだけ来院して下さいね!

Q③ 先生の指名はできますか?

A③ 指名は可能ですが、指名を待つと予約しても順番を待つ事があります。ですので今回だけ指名と、今回は誰でも良いとか、そういう使い分けも大丈夫ですよ。各先生のお休みは受付までお問い合わせ下さい。エキゾチックは特定の獣医が診ているのでいつも指名扱いになります。病院の予約、指名システム等をご説明しておりますよ。

Q④ どんな病気も治療するの?

A④ 最近は獣医療が高度化していて、二次診療と一次診療がハッキリと分かれてきています。それは眼科や神経科と言った科目でも、犬猫と小さな動物(ウサギ・フェレット・ハムスター等のエキゾチックアニマル)などもそうです。当院では皮膚科に強みを置いて診療をしています。一般的な内科も殆ど大丈夫です。整形外科・脳神経・眼科等は手術や器具の必要な病院を紹介しております。輸血が必要な場合は供血してくれるペットさんをご用意して貰えなければ、他院を紹介する場合もあります。

Q⑤ 薬の形状は選べますか? どうやって飲ませたら良いのか教えて下さい。

A⑤ 希望を言って頂ければなるべく合わせますが、薬の性質上どうしても無理な時もあります。分からない時は薬をあげる為のコツを直接お教えします。プリントや資料で詳しくご指導しますので気軽に聞いて下さい。補助の道具・オヤツもありですよ。一回打てば二週効く注射と言うものも有りますよ。またフイリア予防では一回の注射で一年間有効なものも登場しました。また去年から「お薬

に関して」と言う案内文書を作りました。

Q⑥ 手術はいつしていいですか?

A⑥ 基本的には平日(月・土)のお昼です。急患等で止むを得ない時など、日祝や夜中にする事もあります。ただし時間外の手術はスタッフが必要ですのでいつでもできる訳ではなく、特別料金も別に必要です。またこの曜日が希望(特に土曜)!と言う場合には早めに予約を入れる事をお勧めします。

Q⑦ できるだけ入院・通院しないで治療はできますか?

A⑦ ペットさんは残念ながら入院の意味を理解できません。なので当院ではできるだけ入院しない方向で治療を進めます。ですので、入院の必要があれした時は余程の必要性があると思つて下さい。その上で、在宅看護ができる用意を点滴の機械や酸素、マニキュアルなど各種用意しております。往診も患者さんには行っております。通院も頻回になれば大変ですので、在宅で注射等ができる様に指導して実行できる様にご用意をしていますので、ご相談下さいね。

Q⑧ ホテルとかの預かりはしていますか?

Q⑧ 入院ケージも少なく、預かり業の申請もしていませんので、ホテルとしてお預かりはできません。通院されている慢性病の子は検査を兼ねて入院する事がありますが、通常は救命等で入院が必要な子を優先します。

Q⑨ 病院から何か定期的なお知らせはありますか?

A⑨ ホームページトップ <http://www.tyda.or.jp/tyu> や病院アドレス ydoctor.email.ne.jp から登録すると送ってくるメールによる毎月のインフォメーションのお知らせの他、毎月病院で配っている紙のインフォメーションの三つがあります。日曜日にはセミナー等で予約診療が早く終わる事がありますので、インフォメーションにはご注意ください。

Q⑩ 病院にあるお得な制度って?

A⑩ まず年間予防パスポートがあります。これによつて毎月様々なお得があります。予防やフードにはポイントカードがあります。更にフードはサンプルを沢山お配りし、予防薬は何個か毎にエコバック等のオマケや個数のプラス等があります。春秋の健康診断は恐らく日本でも有数の安さで行い易く、去年からはエ

コーやレントゲンにおいても割引をしていく事になりました。

Q11 不妊手術の補助があるって聞いたんですが?

A11 当院からはノラ猫さんにワクチンやウイルスチェックの回数により最大三〇〇〇円の補助をしています。市からは通常4月位に出ますが、行政の決める事なので予算や頭数は色々です。これは数ヶ月前から事前に予約される方が多いです。また完全な街猫さんへの無料手術が京都市で始まっていますよ。

Q12 ゆう動物病院の値段は高いですか?

A12 一般的な動物病院よりは基本的には安いですが、これは年間の患者さんあたりの平均単価が全国平均以下である事からも分かれます。また健康診断だけでなく通常の検査費用等も多く、病院を下回ります。更に様々な割引やお得がある予防等も同様です。ただし、病気になるって沢山検査したり、変わった検査をしたりすると高くなりますが、当院はそれをきちんとするの時に高い場合があるでしょう。もちろん検査の見積もりはご提示し、ご予算に制限がある場合は、その中でどうするか?を必ずご提案させていただきます。治療方法も同

様です。その場合にも僕らの力が試されると思っています。安心してご相談下さい。

Q13 フードを病院で購入するメリットは何ですか?

A13 ネットと違う「正規品の安心」「フードのアドバイス」「同様な他社製品も含めたサンプルの提供」「フードの最新情報のご提供」「毎月のインフォメーション・動物イベント情報等のご提供」「不良品の即時交換……等々の様々な対応、安心、お得があり、それらの多くはネットでは得られません。上記の通り、ネット等他の場所でもフードを購入されている方には病院のアドバイザーに当たる継続したアドバイスとサンプルのご提供はできませんので、ご了承下さい。

Q14 高齢でも手術ができますか?

A14 若い子よりも麻酔リスクが上がるのは避けられませんが、術前検査が問題無ければ可能です。また、通常は何か問題が有っても麻酔対応・術後対応をしっかりとすればリスクは減らす事ができます。その子に合わせた手術プランを立てて安全性を高めます。術前だけでなく春秋の定期検査で見守る事をお勧めします。ちなみに肥満も手術リスクが上昇しますので体重管理はしっかりと!

Q15 最近口の臭いが気になります……

A15 殆どが歯周病ですが、内臓の病気の事もあります。一度ご来院ご相談下さい。最近では口に入れたら溶ける美味しい錠剤で口臭の原因菌をやっつける乳酸菌等を補充するサプリメントもあり、歯が原因の場合、時には麻酔下のスクレーピング・抜歯が必要ですが、その詳しい案内も用意しています。一〜三月に三年以上の継続予防の子への三〇〇〇円の割引制度もあります!

Q16 最近水ばかり飲むんですが……尿量も多い気がします

A16 暑いかとストレスでも飲水量も排尿量も増えますが、腎不全・糖尿病・ホルモン病・子宮疾患などの病気で増える事が多いので注意が必要です。特に体重減少や食欲不振等はお早めに来院して下さい。春と秋の健康診断は特に安いのでお勧めです。とりあえず尿検査だけでもしましょう。尿は可能なら出している中間を衛生的にかつ量は多めに採取し、早めに持参して下さいね。

Q17 猫ですが最近吐くのが多いかな?毛玉かな?

A17 毛づくろいで口に入った毛が胃の中で毛玉になる事もあります。よく毛刈りやブラッシングをした上で便の中に毛を出し易くするフードやサプリメントをお勧めします。フードはサンプルもありますよ。ただし吐きが多いのは病気の事もあるので余りに酷いなら一度診察をしましょう。

Q18 トイレにしょっちゅう行きます

A18 Q16の多飲多尿の病気で起こりますが、膀胱炎の事もありますが、膀胱炎よりもっと怖いのは尿道閉塞です。特にオスで排尿のポーズをしているのに全く出ない時などすぐに来院をしましょう。尿は丸一日出ないだけで腎不全になり死亡する事もあります。様子を見ている内にペニスを傷つける子も多いので一日を限度にご来院下さい。最近ではストレスによる猫の特発性膀胱炎を食事でも効果的に再発予防するものも新発売されました。ご相談下さいね!

Q19 救急・夜間対応はしてくれませんか?

A19 留守番電話のメッセージで「手術中につき対応不能です……」と流れる時は全く対応できませんのでいかなる時も対応は不可能です。そうではない時はお名前・症状連

絡のつく電話番号(非通知着信拒否を解除)を入れてお待ち下さい。十分以内に返事が無ければ対応は難しいと思つて下さい。

久御山の夜間動物病院は0774-441-3139です。

本当の意味での救急は凄く少ないのが現状です。当院は正月の休みで診察する体制になつていきます。なるべく早めに来院しましょう!ちなみに京都市による夜間動物病院が近い内にできます。僕はその設立委員会の一人です。良い夜間病院を作りたいのでご希望があれば何か伝えて下さいね。

Q20 お薬だけ欲しいんですが……

A20 病気の診断をお話だけで行うのは困難です。処方するのは診察後なのは当然ですが、更に法律上も診察して初めて病気を診断してお薬が出せます。獣医師法で決まっています。事で全ての獣医が守らねばなりません(です)のでネットでの販売は何回も摘発されています。当院で一度診察をしていただければ毎回診察をしないでも継続して出す事はできます。ただし定期的な診察はしましょう!ちなみにアニコム損保が通院の無い薬だけの処方の保険対象外を決定しました。

〔2013年の手術に関して〕



今年からは毎年あんまり代わり映えがしなくなった統計上の数字では無く、その年の手術そのものに對しての具体的なコメントをしていこうかと思っています。

ところで表面上リスクが無さそうな麻酔の事故(死亡)率はどれ位か、ご存知ですか?色々なデータがあるのですがよく引用される確かな統計でワンちゃんで二〇〇分の一(0.05%)、猫ちゃんで一〇〇〇分の一(0.1%)の確率だと言われます。人間の場合を考えると残念ながら多いと言わざるを得ません。

ただしこれには色々な条件の患者・病院が混在していると思いますし、勤務医時代を考えると、実際にはその倍以上は安全だと言う印象があります。でも僕自身は死亡事故は幸いに体験していませんでした。が、起こっているのを目撃して、近ますし、限りなくゼロに近い

づいても結局はゼロではありません。

でも開業して十年、実際に死にかけていてリスクが非常に大きい手術を除けば、幸いにも一度も麻酔事故が無く、日々麻酔事故を念頭に置いて安全を追求した麻酔をしつつも「実際に事故は起こるものだ」と言う意識が薄くなりつつあった去年、突然に人生初の麻酔事故を経験してしまいました。

ノラ猫さんだったので前歴が把握できていない事と、興奮気味だった事は確かにリスクですが、当院で推奨する胸部レントゲンと全体の血液検査を終えており、責任を持って手術をさせて頂いた避妊手術でした。特に問題無く手術を終えて、段々と目が覚めてくるのを、いつも通り見守っていたら、急に瞳孔が開き呼吸が停止して……色々と手を施しましたが、三日間人工呼吸器につないで頑張ったものの、脳死の状態から回復する事は無く、オーナー様の同意を得て人工呼吸器を止めさせて頂きました……。もちろん解剖は望まれずに原因は不明で、何らかの脳症状態が元から有ったかとは思いますが、非常に申し訳無い思いと共に改めて麻酔の怖さを強く感じました。

怖さを強く感じました。

もちろんその後に徹底的に器械と手順の再チェックを行い、更に安全性を確認し追求した上で問題無く手術を行っております。でもいつか必ずまた「なんで?」って言う麻酔事故は起こるんだと覚悟はしております。その覚悟の上で責任を持って手術を行ってまいります。

また逆に良い話としてはラブドールレトリバーさんの異物手術での奇跡の生還がありました。この子は歯磨き用のロープを丸呑みしてしまったのですが、何と胃から盲腸まで全部がアコーディオンの様に折りたたまれて、痛々しく変色した一本の赤い棒の様になっていました。紐状異物は一番死亡してしまう異物と言われるのですが、ここまで酷い状態は見た事が無く、一回も異物の手術で亡くなった事は無かったのですが、申し訳無いのですが「これは初めて亡くなるかも知ない……」と思わざるを得ませんでした。内視鏡で胃の中も確認した後、盲腸から順に切りながら緩めて紐を取り出し、腸が絡んだら次を切つて伸ばし……と、結局胃まで切開して全部を取り出して、祈る様な気持ちでい

たら……。アララ?つて位にみるみる元気になってくれて、無事に退院!今も走り回ってくれています。もちろん本人の力とご家族の献身のお蔭ですが、本当に奇跡だなあと嬉しく思った手術の例でした。

そうそう、常に手術に用いる訳では無いのですが、去年からはレーザーの器械を購入しました。これにより、手術時の切開・シーリング(血管を閉じて止血する)や無麻酔でイボを取る事、痛みを緩和する事、更に脱毛など色々な世界が広がりました。

麻酔薬や方法も新しいものを勉強とヒアリングをしながら、今年も慎重にでも積極的に取り入れていこうと思っております。麻酔や手術のご案内も改善しながらより良いものになりたいと思いますので、何かご意見等があれば下さいね!

普通の不妊手術以外に、こんな手術もしています

二〇一三年までに下記の手術をしています。

会陰ヘルニア・子宮水腫(猫)・会陰部尿道口ウ(の性転換)・膀胱結石・ヘルニア(横隔膜・ソケイ・臍・

腹壁・前恥骨靱帯)・腸切開(異物)・股関節脱臼整復・会陰切開ポリープ切除・後肢断脚・垂直耳道切除・帝王切開・肝臓破裂整復・胆嚢切除・眼球摘出・膀胱憩室整復・卵詰まり取り出し・断指・フィラリア釣り出し・大腿骨骨折修復(タイイン法)・膀胱切除・大腿骨骨折切除・前肢断脚・チエリアイ整復・瞬膜フラップ・角膜放射状切開・ガマ腫切除・胃切開(異物摘出)・脱腸整復・ほぼ袋脱出整復又は切除・断尾・陰嚢摘出・腸切除吻合術・骨盤整復・手首の腱の縫合・内視鏡による異物除去・眼瞼腫瘍切除・胆嚢破裂縫合・クライオサージエリー(凍結療法)・顎のう胞・胆のう十二指腸吻合術・前立腺と直腸固定術・脾臓摘出・内視鏡による生検・涙管フラッシュです。

*手術は新しい記録体制も順調で、必ず三人以上の人手をかけ、より安全・清潔・丁寧にできていると思います。本や器具や縫合糸もより良いものを搜して、積極的に導入しています。100%の安全な手術は有り得ませんが、それを目標に頑張ります。



※この漫画は、猫と人との関係を描いたものです。

もちろん病気の診断と治療も大事ですが、普段から利用して頂きたいのは予防と飼い方の相談です。予防というのはワクチンやフィラリアももちろんですが、肥満の管理など飼育方法についても、大きな事を未然に防ぐ観点から非常に重要な事になってきます。健康手帳にも大事な情報が書いていますので読んで下さいね。

また平成二十五年からは年間パスポートによる沢山のお得があります。そして病院にたびたび来

病院を利用しましょう



バックナンバー

前回の号に興味がある方はホームページをご覧ください。何部かは病院に有る場合もあるので受付にもお問い合わせ下さい。

<http://www11.plala.or.jp/YUU/>

て頂くと無料でご利用できます！院内プリントとサンプリングの配布・しつけ等のDVD・本の貸出し・体重測定・口輪とカラー・手袋・捕獲網の貸出し・パウリンガルやペットカメラ貸出し……etc

散歩のときや季節の変わり目、色んな時に病院を利用して下さいね。



2014年に入ってきた事・これから予定している事など……

- ※とにかく病院の面積をゆくゆくは広げたいのですが……こればかりは色々な縁ですね。今の病院でできる事をより精度を高く、より清潔に維持発展しながら縁を待ちます。
- ※病院を広げてどうしたいか？に関しては「待合を大きくして快適にする」「入院室をゆったりと面会して頂ける様にする」「スタッフルームを病院とつなげて使い易くする」「個室の診察室を設ける」を考えています。そして「できたら院長室欲しいなあ〜」ですね。
- ※皮膚科の認定医として国内外のセミナー受講のみならず、発表や受賞もしていますが、今年から専門誌への連載もする予定です。現在第一回を書いています、なかなかハードです……(苦笑)。日々の診察ではコツコツする事ばかりですが、視点は高くなります！
- ※再生医療に興味を持っているので、獣医療のその分野の日本でトップの方にお話を聞いたりもしています。治験には参加していますが、まだこれからですね。
- ※いざ集中的に検査や治療をしなくてはならない時には、特別な人手やコスト(器械・外注費)がかかります。これは適切にご請求をしなくてはならないのですが、予防や普段の日常的な治療は、これらとは分けて続けやすい価格を追求したいと思っています。



★毎月のインフォメーション配っています★

毎月病院スケジュール・イベント・最新商品・注意事項・豆知識等を載せたインフォメーションを新聞とは別に配っています。貰いに来て下さいね。載せる可愛い写真も募集していますよ！また情報量は減りますが、HP掲示とメールでの配信もしています。

y@doctor.email.ne.jp に登録希望メールをご送信下さい。更に！去年からホームページ <http://www11.plala.or.jp/YUU/> のトップページで簡単に休日情報などを毎月案内しておりますので是非ご覧下さい。

イラスト作製：スタッフ・元スタッフ(サインを探してね) マンガは院長です。

■病院に対するご要望・意見を待っています■

日頃からスタッフ一同、良い病院にする為に頑張っていますが、僕たちでは気がつかない事や至らない事もあると思います。そういう点を教えて頂ければ、勉強になります。院内にはお礼付きのアンケートもあります。

「365日・24時間診察してくれ」と言われても急には無理ですが、その様なご要望が飼い主様の必要としている病院像をつかむ事にもなりますので、どうか教えて下さい。



〒601-8432
京都市南区西九条東島町 58-103

ゆう動物病院
y@doctor.email.ne.jp